

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800244
法人名	特定非営利活動法人NPOみなまた
事業所名	グループホーム 三郎の家
所在地	鹿児島県出水市住吉町6番18号 (電話) 0996-65-7740
自己評価作成日	平成26年3月3日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

環境に関しては、海の入江にあり広縁からは海が一望できます。海が満たされていると何とも言えない癒しの場であります。利用者様によっては、広縁で本を見たり、ゆっくりとした時間を過ごすことを楽しまれている方もいます。日常生活の場面では、利用者様がゆっくり過ごせるよう、又、出来ることを考えての環境作りに努めています。

地域の自治会へ加入し、当番制の班長を行い配り物を行うなど地域の一員として活動しています。また、地域の行事への参加では、職員は出演者として参加し見学するだけでなく一員として活動しています。地元出身の利用者様もいらっしゃり、行事に参加すると挨拶や昔の話をされる方にも出会うことがあります。

現在、介護職だけのグループホームです。介護の専門性とは何かをスタッフの育成・学習会を通して考えています。医療との連携では、ケアの視点を伺いながら利用者様の症状でいつもの違いに気づき医療へ繋がられるよう努めています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月17日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、静かな住宅地域に立地し、自治会に加入し当番制の班長も担い、地域行事や清掃にも積極的に参加している。介護支援の情報発信の場ともなっている。
- ・周辺には民家が多く、商店や公民館・神社などが在り、散歩や買い物の際には挨拶や会話を楽しめる環境で、野菜などもいただくことがある。
- ・災害対策として、地域の消防団の協力で夜間想定避難訓練を実施し、津波対策について運営推進会議での提案により安全な避難場所の確保がなされた。
- ・利用者が張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や習慣を大切に役割を支援している。
- ・管理者は職員が働きやすい環境を整えて、職員はケア対応等の更なる向上をめざしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念である「人権・安心・共生」をもとに三郎の家独自の理念をスタッフと共に作成している。朝の申し送り時にスタッフ間で理念の唱和を行い、理念を共有し実践につなげている。	法人の理念を基本として、利用者本位と地域密着をめざし管理者と職員がグループホーム独自の理念を作っている。理念を各所に掲示して、毎朝、申し送り時に唱和したり、会議等で確認し合い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し、班長の月は配り物をしている。リサイクル当番や草むしりなど参加し、散歩時に地域の方へ挨拶を行っている。毎年、地域の行事に参加し、スタッフは催し物に参加している。今年度は、地域の消防団の方や地域の方々が参加して夜間想定避難訓練を行い協力を得て、交流した。	自治会に加入し、班長を引き受けたりして、総会や奉仕作業などに参加したり、回覧板を届けたりしている。町内放送で地域と情報を共有している。地域の敬老会などの行事や散歩や買い物に出かけた時に、挨拶や会話を楽しんでいる。ボランティアの受け入れなども行っている。近所から野菜などのさし入れもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	管理者はキャラバンメイトの活動を通じて、地域の方々と交流している。また質問等には返答し一緒に考えていく姿勢を大切にしている。運営推進会議でも研修等の報告を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会長・民生委員・介護保険課の職員・近所の方・ご家族の参加をもらい、2ヶ月に1回の頻度で開催している。運営推進会議であった意見は、ミーティング時に報告し職員間で話し合いサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催され、事業所の行事の報告や状況・外部評価結果の報告・災害対策などが話し合われ、現在取り組んでいる内容についても意見をもらっている。会議における助言で、満潮干潮時の潮の見方や安全な高台の避難場所確保などを話し合っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営上で困っていることや疑問は、運営推進会議の後で個別に質問をしたり、電話・訪問などで相談し、アドバイスを頂いている。又、市の職員からもグループホームでの現状などで、質問を受ける際にも、具体的に答えるなど協力関係を築けるようにしている。</p>	<p>市の担当者とは申請書類の提出時等に質問や提案などを話し、連携をとっている。日頃から電話で情報も交換し、アドバイスをもらっている。市主催のグループホーム連絡会などにも積極的に参加し協力関係を築いている。福祉関係の担当者とは細かに連絡している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をすることの弊害を知り、安全対策・リスクを検討しながら、ケアの支援を行っている。身体拘束、施錠を行わず支援している。また同法人内での事例を共有し、他グループホームで起こったことでも自分たちのこととして考え話し合いの場で検討するようにしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、「拘束はしない」を基本にしている。研修会に参加し、身体拘束をしないケアを実践している。利用者の外出の要因を把握して自由に出入りできるように玄関の施錠は日中はしていない。職員間の連携で安全な暮らしを支援している。近隣住民にも協力を依頼している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、絶対に許されない行為として全職員が順守に向け取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>法人主催の研修の中で権利擁護について学ぶ機会を持っている。現入居者の中では、支援の必要性がないため活用していない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>時間をとり、丁寧に説明するように努めている。特に入院時の対応や契約に締結に関しては、ご家族が最も心配することなので、具体的な話を行い分かりやすく説明を行うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議の際に、ご家族の方より意見を頂くことが多い。また、面会時（病院受診の同行時なども）ご意見を伺うようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見等を聞き、話しやすい関係づくりに留意している。家族からは面会時や電話連絡・行事参加後もよい機会として、生活歴や希望を把握できる機会を多く設けている。出された意見や要望等は職員で話し合い、日々のケアに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個別面接やミーティング、普段の会話の中より、職員の意見を聞くようにしている。法人全体としては、年1回の職員集会を開き、意見を聞く場を設けている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、ミーティング等で職員の意見等を聞き、その反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き、適切にアドバイスをしている。年1回法人全体の職員集会も活用している。意見や提案が運営に反映できるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則により職員の労働条件は、整えられている。又、職員(特にパート)からあがってきた意見で給与面などの改善に向けての具体的な話し合いを行い整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所外での研修で、スタッフに必要な研修は何かを考えながら、本人のレベルに応じて研修の声掛けを行い、参加に結び付けている。</p> <p>内部研修では、現場の状況より必要な研修をスタッフ自ら考え、企画、実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や地域の連絡協議会に加入し、事例検討会や研修会に積極的に参加している。法人内での研修にも参加し他事業所のスタッフとの交流をもっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の相談があったときには、必ずご本人に会い、心身の状態や困りごと、ご本人の思いが把握できるよう努めている。(自宅の状況を見ることにより本人様の大切にしていることも感じれると考え、出来るだけ実施している)		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用の相談があった時は、ご家族の不安やこれまでの思いを受け止めるように努めている。そして、事業所としてどのような対応ができるかを含め、話し合いを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や家族の思い、状況を把握したうえで必要とされている支援が何なのかを見極め、本人の思いを聞き返したり、無理に決めないような話し合いを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来ることをしてもらい、必ず感謝の言葉を伝えるように徹底している。スタッフが利用者様に頼ったり助けてもらう場面を作り、年長者としての誇りや自信を引き出せるよう心がけている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会などを利用し、日々の状況を伝えながら、本人が何に困っており、何を望んでいるかを考えながら、共に本人を支える姿勢での関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会が行えるようにしている。（ご自身の判断が難しい方はご家族に確認しながら行っている） また、理美容師の定期的な訪問で髪のカットを行っている。	友人知人の訪問を奨励し、関係を継続できるよう働きかけ支援に努めている。電話や手紙の取次ぎなども行っている。馴染みの理美容師の訪問出張を利用している。家族の協力で墓参にも出かけている。思い出の場所に行き、知り合いや友人・親戚との交流もしている。家族との外出で受診の帰りに馴染みの所で外食をしたりして関係性が途切れないようにしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングやダイニングでの座る位置など入居者同士の関係を把握し、調整している。他の利用者様と関係が難しい方は、1人でも過ごしやすい、本人様なりの居場所作りを考えている。又、関係が良くない利用者様同士でもスタッフが間に入り、心通わす時間を持つよう工夫している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院など、サービスの利用が終了された方に対しても職員が会いに行ったり、ご家族からの相談や話しをするなどの継続的な関係が続けていけるように努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、表情や言動、行動を個人別ケア記録などに記載し、その方の思いの把握に努めている。自分で思いを伝えられない方は、その方のこれまでの生活歴や、その場面での言動を考え検討している。	家族からの情報を得て、日々の生活の中で言葉や表情から思いや意向の把握に努めている。ケアノートを利用したりして職員間の情報交換も密である。日常生活の中や精神的にリラックスできる入浴時や夜間眠れない時など日頃聞けない思いや今までの生活歴など聞いて記録しその人らしさを汲み取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	自宅を訪問し、ご本人やご家族から情報を得るようにしている。入居後も本人様よりこれまでの生活についての話を伺い、状況によってはそれをケアに活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ささいな行動、発言からその方の現状を把握しようと努めている。出来なくなっていくことは、気付きやすいがその中でもできる事は何か？に目を向け支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	月に1回モニタリングを行い、その中で利用者様の受け持ちの担当者がその方の変化や、気になること等を報告し、その後、職員間で話し合い、情報共有し、日々のケアに活かしている。	本人や家族の意向を聞き、医師の助言を参考にして介護計画を作成している。モニタリングを行い目標達成度の確認をしている。計画に基づいて、振り返り日常の記録を参考にして個別的に利用者の状況変化に即した介護計画をしている。職員で共有し、ケアに取り組んでいる。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	その方に対するの行動、気付きを細かく記録に残すようにしている。利用者様の現状や変化は、共有し、対策をとることを共有している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ニーズを伺いながら、事業所として出来ることを柔軟に行っている。例えば、以前、病院受診をご家族にて行っていたが、ご家族より先生へ本人様の状況を伝えることが難しいとの声からスタッフが同行し受診を行い、主治医へ本人様の状況を伝えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要に応じ、自治会長・民生委員・消防団などへの協力を依頼している。自治会長が地域での連絡網を作成し、高齢者世帯の安全対策を考えている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医院だけでなく、ご本人やご家族の希望するかかりつけ医の医療を受けられるよう支援している。皮膚科や歯科・耳鼻科など、症状がある際は、ご家族に相談し、これまでのかかりつけがあるかを伺い、ご希望も聞いて対応を行うようにしている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から往診が2週間に1回ある。専門医の通院は家族の協力を得て支援をしている。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師が不在である。協力医がかかりつけの利用者様に関しては、体調不良時には病院（看護師・医師）へすぐに相談し、現状を細かく相談するようにしている。他の利用者様に関しては、体調に大きな変化が見られた際は、スタッフが同行し、利用者の情報を細かく伝え、又、ケアや観察の視点を細かく聞いてケアに活かしている。医師や看護師の発言に関しては、記録に細かく残すようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時や入院中・退院時の病状説明の時には、スタッフや管理者がご家族と一緒に参加し、又は、細かなケアの状況を情報提供し、早期退院に向けて皆で協議している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期に対する指針を定めており、又、学習会を通じて終末期の在り方について学びを深めている。又、利用者様、ご家族には、元気なうちから「今は元気であるが、お年を召していることを忘れないでほしい・・・」ことをお伝えしている。本人様の状況を見ながら食事が入りにくい状況があれば、これから考えられるリスク等をご家族に話し、できるだけ情報を共有してもらえようとしている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を本人や家族に説明して同意を得ている。状況の変化に伴い繰り返し話し合い、本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して支援している。職員は看取りの学習会を行い態勢を整えている。訪問看護ステーションとの契約もしている。職員全員がその方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急法の講習会に参加している。応急手当などの学習会は、行っていないので今後への課題である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対策として、自治会長にて連絡網（地域の高齢者世帯の対応用）を作成し、グループホームの利用者様も入っている。	年2回消防署の指導のもと、防災訓練を実施している。近隣の事業所職員や地域住民の協力体制もできている。緊急通報装置やスプリンクラーも設置されている。海に近いので津波対策は万全を期し、避難場所確保ができている。災害用の器具や備蓄が準備されている。津波や台風の情報を携帯のアプリで予測確認しながら避難体制が少しでも早くできるようにしている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は、自分達の何気ない言葉や表情をよく見ていらっしゃる。新人職員も多い今、スタッフ間で言葉遣い等、注意し合っている。個人情報の取り扱いにも十分配慮し、情報の漏洩防止に努めている。	一人ひとりの人格と尊厳を大切に、「あたりまえに自分らしく住み慣れた地域で暮らし続けたい」を念頭に、トイレ誘導時等の言葉かけにも配慮してミーティング等において勉強会を行っている。個人記録等の取り扱いにも十分配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	些細なことでも、本人様が決めることが出来る場面を作るようにしている。利用者様に合わせた声掛けや働き掛けに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその1日の流れはあるが、なるべくその方に合わせるように努め、一人ひとりのペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	鏡の前で、ご自分で整える場面を作っている。不十分なところや乱れはさりげなく職員が直している。 その方の好きな色や衣類を知り、本人が好むような状況を支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何を食べたいか？伺いながら作ることもある。 食事中は、食材や献立を伝えながら、談笑し食べている。食後は、茶碗拭き等できることを利用者様に手伝ってもらっている。	職員と利用者で調理をしたり、片づけをしている。彼岸にはおはぎを作り、誕生会にはケーキを作るなどしている。食事前に楽しい会話をしたり、季節の物を調理に取り入れたり、行事食を作ったり、弁当を作って公園に出かけたり、楽しみながら食事できるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分は、チェック表を用いて記録に残している。本人様の好みの飲み物をスタッフ間で共有し少しでも摂取しやすい状況を作っている。</p> <p>咀嚼、嚥下が難しい方は、本人様が食べやすいよう食事形態の工夫を行っている。集中力がなく食事を残される方には、時間を置き再度アプローチをするなど工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時、入床時の口腔ケアを確実にやっている。一人ひとりの力量に応じ、声掛けや介助を行っている。口腔ケアが難しい方は、本人に行ってもらった後に、再度スタッフがやっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>スタッフが排泄パターンを把握し、個々に応じて誘導や介助を行っている。本人の状況に応じ、オムツ類やパット等を検討し、自立を妨げず気持ちよく排泄してもらえるよう工夫している。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、自尊心に配慮しながら、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。ポータブルトイレ利用者もいる。排泄の失敗など原因を究明したり、習慣や排泄パターンを把握して、身体機能の向上に繋がるように、察知して個別に言葉かけしながら、自立に向けたトイレ誘導をしている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ下剤に頼らないように乳製品・オリゴ糖・寒天などを取り入れている。腹部マッサージや運動、排便が出やすいように前傾姿勢になるよう、自然排便を促す工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に入浴を午後から行うようにしている。入浴を拒否される方は声掛けの工夫を行っている。入浴時は、ゆっくりリラックスしていただき、本人の好む会話で楽しんでいただけるようにしている。	入浴は週2回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように支援し、ゆっくり入浴できるようにしている。入浴をいやがる利用者には、職員間で連携し、声かけや職員の入れ替わりなどを工夫して、入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、出来るだけ手伝いやレクリエーションへ参加していただき、役割を持ち、活動性を上げるよう支援している。 ご自分から、訴えられない方は、表情を観察し、状況に応じて休める状況を作っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診や受診時は、必ず医師とのやり取りを記録に残し、薬の変更についてもスタッフが把握できるよう努めている。 状態に変化が見られた時には、直ぐに管理者に報告し、医師との連携をとるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様のできること(得意分野)を見極めながら、手伝いを願ひし、その都度感謝の言葉を伝えている。ホーム内の生活だけでなく外出や地域行事への参加の機会を持つようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外へ出られた際には、必ず付き添い散歩が出来るよう支援している。 天気の良い日や暖かい時期には、重度の方であってもこちらから声掛けし散歩やドライブを行っている。又、外食や地域行事への出掛ける機会を持つようにしている。	日常的には、近隣の散歩やドライブを兼ねた買い物、地域の行事などに出かけている。計画を立てて花見や外食、弁当をもって公園に出かけたりもしている。楽しく会話しながら普段行けないところや自宅周辺までドライブしたりしている。家族の協力で、外出や病院受診・墓参り・外食等の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、ご家族にて行っているため、所持や使うことの支援はしていない。 ご本人がほしいものがあるときには、グループホームにて立替し、ご家族や本人に相談しながら購入することがある。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	子供さんより、ハガキが来る方や、記念の日には贈り物が届きお礼の電話の支援をすることがある(本人様自ら行おうとしてはいないのでスタッフが声掛け・セッティングを行っている)。又、年賀状を家族に送っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング・ダイニングは、食事を作る時の音や匂いなど、生活感が身近に感じられる造りになっている。広縁やリビングの壁面は、季節を感じられるように手作りのカレンダーや花を飾っている。音、光など、利用者様にとっての快・不快を考え、居心地の良さに配慮している。</p>	<p>共用空間は換気や採光に配慮し清潔である。広縁は海に面しており、海を眺めての食事をしたり開放感がある。壁には利用者の作品や写真・手作りのカレンダーなどが貼られ、ソファが置いてあり、ゆっくりとくつろげるようになっている。台所も身近なところにあり、楽しい食事ができる共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングや広縁にソファやテーブルを置き、思い思いに過ごせるように工夫している。居場所に関しては、利用者様同士の関係を考慮している。又、本人様が好む位置を知り、支援している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自宅で使用していた家具や寝具類を出来るだけ持って来てもらうようにしている。又、好みの小物や本などを置いている。スタッフは、居心地の良さを等を工夫している。</p>	<p>ベッドは備え付けである。仏具やテレビ・タンス・手作り作品・家族の写真・椅子・寝具類など、馴染みの物や使い慣れた物・家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して生活できる配慮がされ、その人らしい部屋になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様の身体状況に応じて、椅子の高さや食台の高さを調整している。手すりをつけて移動しやすいようにしている。</p> <p>トイレの表記や居室の表記を利用者様が読みやすかったり、認識しやすいものになっている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない